



子どもたちの確かな学力の育成のために【教職員版】

令和7年10月 栃木市教育委員会

4月に行われた、令和7年度『全国学力・学習状況調査』及び『とちぎっ子学習状況調査』の結果は、全教科、全国平均・県平均と同程度でした。

栃木市教育委員会では、本調査の結果をもとに、学業指導・授業改善の点から、学力向上のポイントを作成いたしました。日々の学習指導にご活用ください。

学力・学習状況調査の各教科の結果から

小学校(4・5・6年)

◎よくできたこと ▽課題が見られたこと

国語	◎漢字や熟語などの言葉を理解したり、意味を捉えたりすること ▽目的に応じて情報を把握・整理・分析したり、構成や内容を整理して考えを適切に表現したりすること
算数	◎基本的な四則計算をすること ▽場面や数量の関係を捉え、言葉や数、式を用いて筋道を立てて説明すること
理科	◎実験方法を考えたり、実験方法が適切であったか検討したりしたことを表現すること ▽観察・実験の結果や身に付けた知識・技能を関連付けながら判断したり、考察したりすること

★小4・5はとちぎっ子学習状況調査(国語・算数・理科実施)、小6は全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科実施)

中学校(2・3年)

◎よくできたこと ▽課題が見られたこと

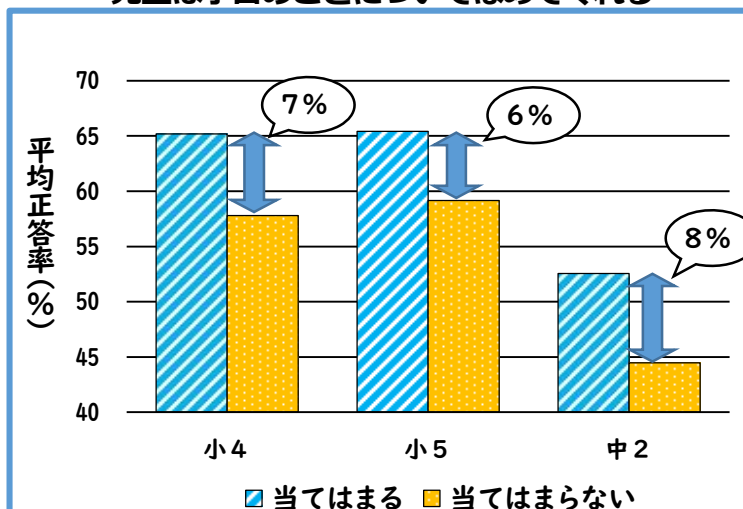
国語	◎話題の展開や内容、相手の反応を踏まえて考えをまとめたり、分かりやすく伝わるよう工夫したりすること ▽根拠を明確にして自分の考えを表現することや、叙述を基に人物像や心情、文章の特徴を捉えること
社会	◎地理に関する資料の特色を読み取ること ▽複数の歴史資料を関連付けて考察し、文章で説明することや表現すること
数学	◎図形の移動や確率について理解すること ▽条件や情報を基に、数量の関係を見出したり、数学的な表現を用いて論理的に説明したりすること
理科	◎身近な自然現象に関する基礎的な知識・技能を身に付けること ▽生命や地球に関して身に付けた知識・技能と関連付けながら考え、適切に表現すること
英語	◎意味が通る文になるように、単語の形を変えたり、単語を並べ替えたりすること ▽与えられた情報に基づき、英語を使って自分なりの言葉でまとめたり、自分の考えを書いたりすること

★中2はとちぎっ子学習状況調査(5教科実施)、中3は全国学力・学習状況調査(国語・数学・理科実施)

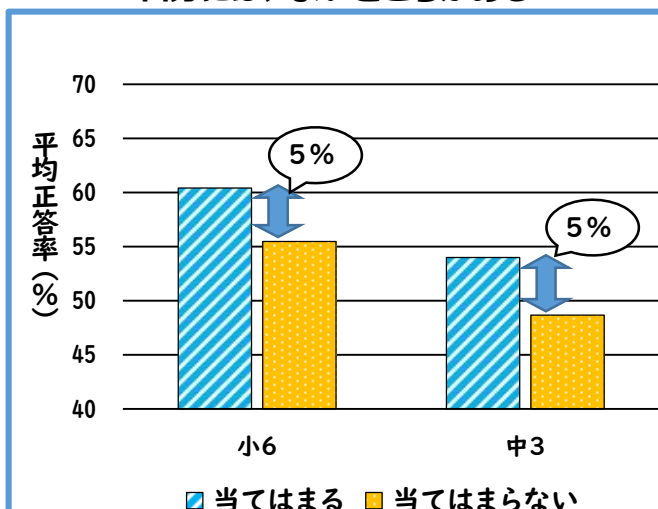
学業指導

児童生徒の状況等に配慮しながら称賛したり、児童生徒が互いに認め合う場面の設定を工夫したりすることは、子どもたちの自信につながり、学習への意欲を高めます。

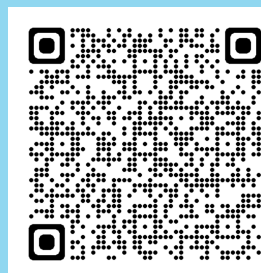
先生は学習のことについてほめてくれる



自分には、よいところがある



学業指導教職員用リーフレット
(栃木県教育委員会)



https://www.tochigiedu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/kateigakusyu/h20/gakugyoshido_kyosyokuin.pdf

過去のリーフレット
& 「とち介の学び」
(栃木市教育研究所HP)



<https://tm2.tcn.ed.jp/kyoukenh>

これらの資料も
ぜひ参考に！





授業改善に向けて

児童生徒の実態

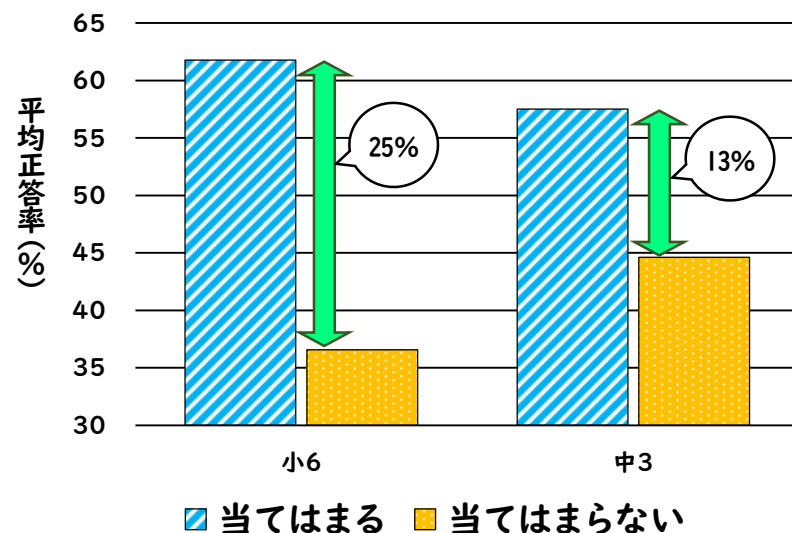
単元を通して育成を目指す資質・能力

児童生徒の実態や、育成を目指す資質・能力は、単元計画や学習活動とも関連します。

単元のゴール＝単元の目標の設定

学習したことをつなげる

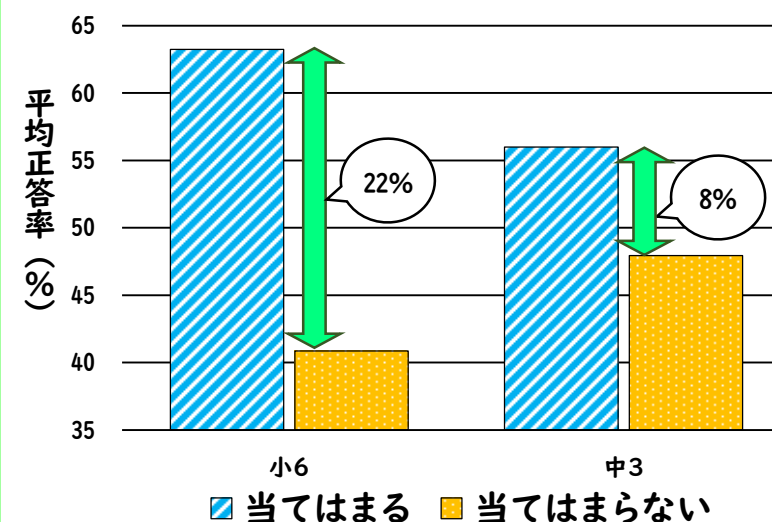
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか



- 学習の系統性を意識して単元計画を立てる
- 教科等横断の視点から単元や授業を組み立てる

様々な情報を活用する

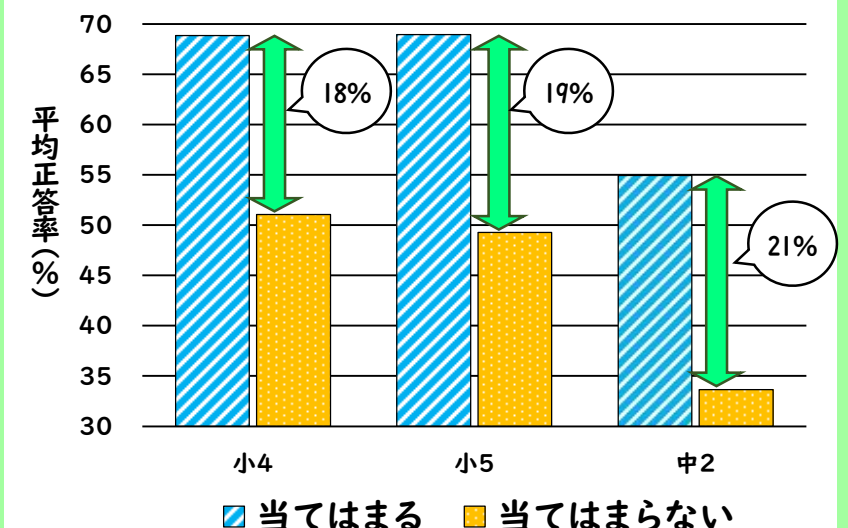
あなたはPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができますか



- 発達の段階に応じた情報活用能力の育成を図る授業を行う
- 情報収集、整理や分析の手段としてICT機器を効果的に使う

意見や学んだことを表現する

授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている



- 多様な表現方法を取り入れた学習活動を設定する
- 自分の言葉で表現する楽しさや有用感が得られる授業を行う

授業を通して見えてきた子どもの姿から、適宜、学習改善を促したり、授業改善を進めたりすることが必要です。

児童生徒の学習改善

教師の授業改善

単元のゴールの子どもの姿 ⇒ 評価

「学習をつなげる」「情報を活用する」「学んだことを表現する」ことは、栃木市のグローバル教育プログラムの中でも大切にしています。